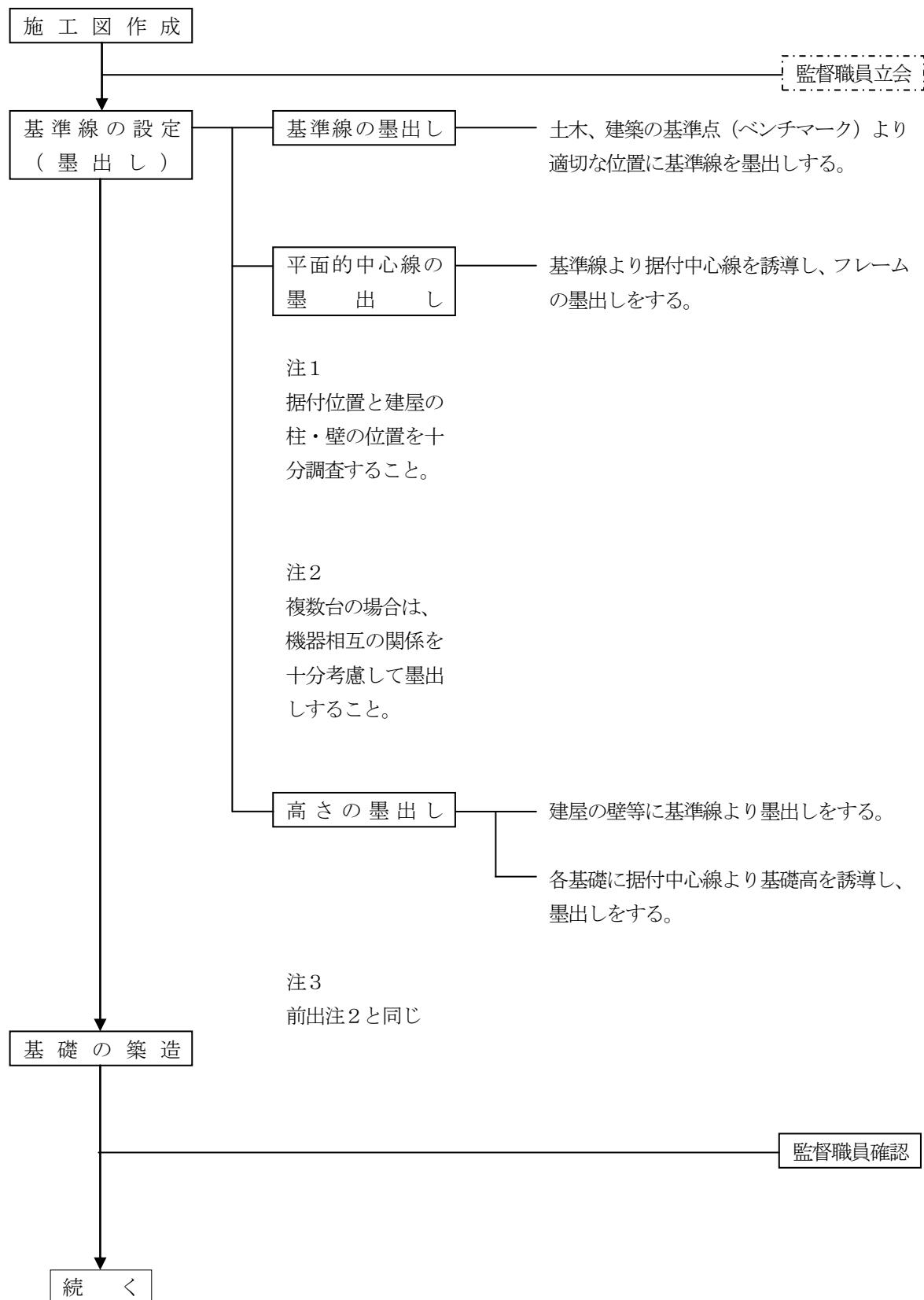


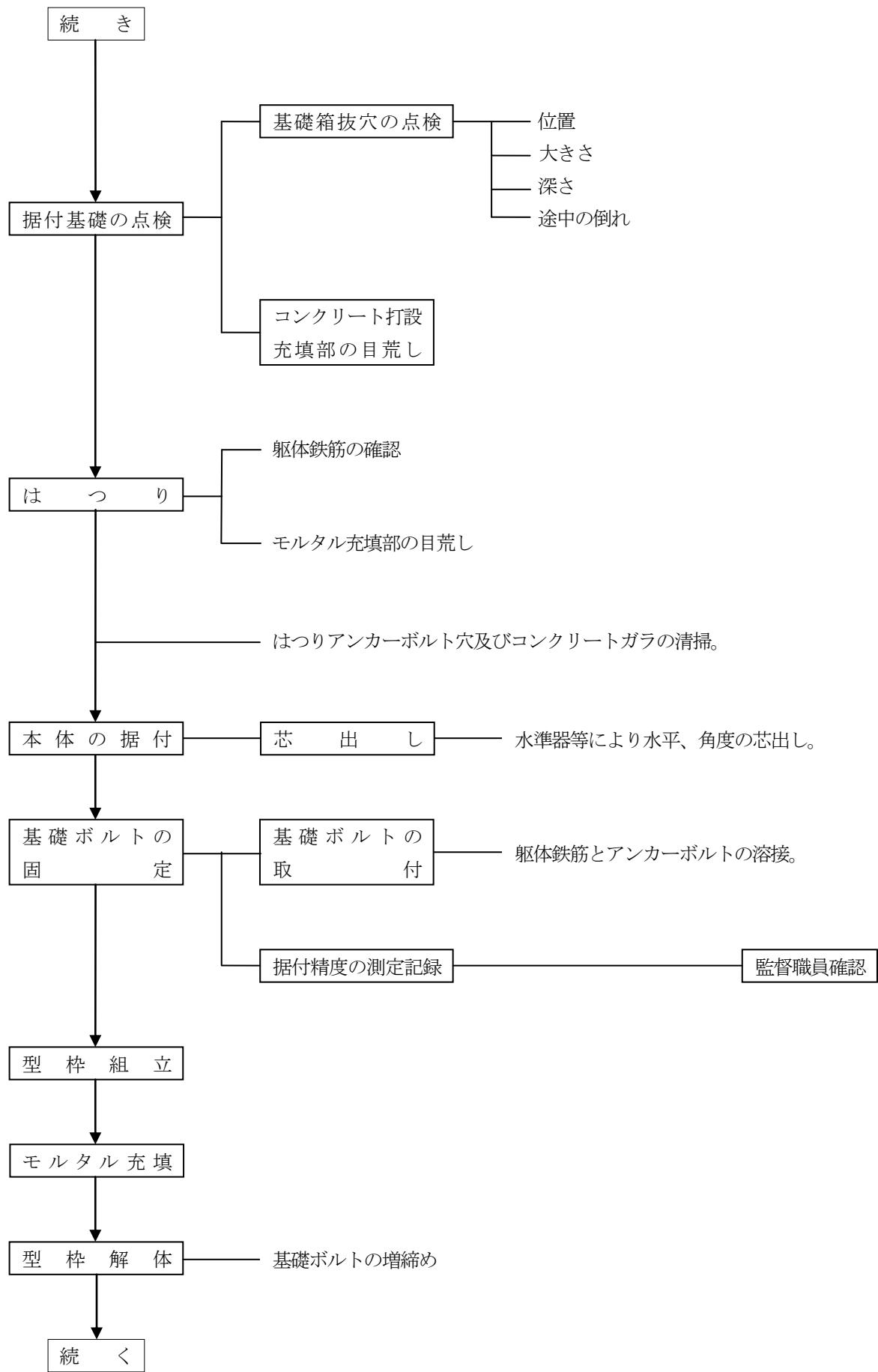
2. 3 除じん設備

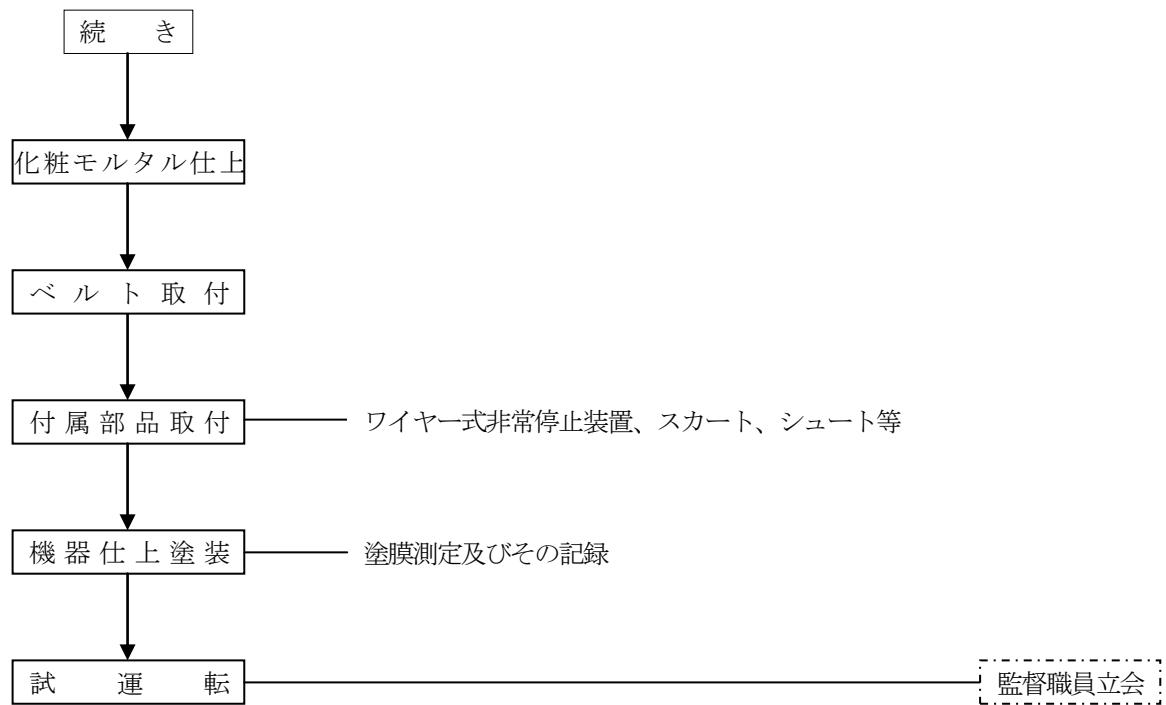
(2) ベルトコンベヤ

① 据付手順

(ア) ベルトコンベヤ据付フローチャート





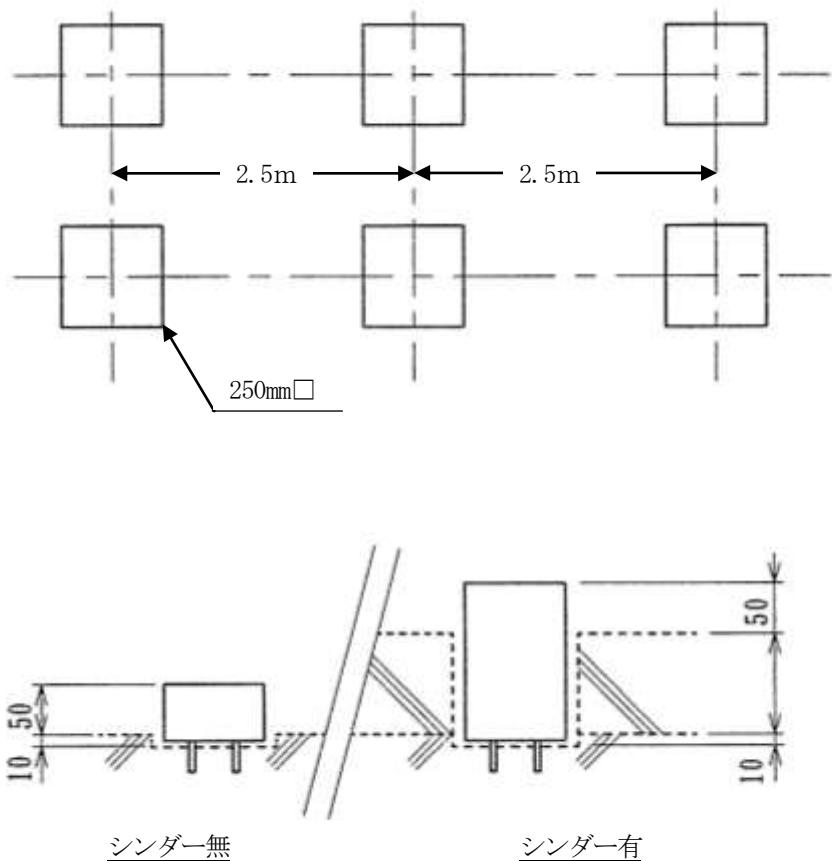


② 墨出し及び測定の要領

測定項目	測定要領	測定か所図
機器据付面のレベル確認	<p>据付面の基準は、基準点（ベンチマーク）より誘導し、作業に便利な位置（ズラブ面又は、柱壁等）に副基準点を墨入れ、据付面レベルとの誤差を確認する。</p> <p>この場合、建屋の柱及び壁など建屋内の配置をチェックする。</p>	
据付基準線に対する寸法確認	<p>関連機器の基準線、又は構造物の基準線（柱、壁等）を基に、取り合い寸法を確認する。</p>	

(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を充分考慮し、墨出しを行うこと。

③ 据付標準基礎図



機長	5m	10m	15m	20m	25m
基礎数	6個	10個	14個	18個	22個

※ 最大で2.5mに2箇所(左右)設ける。

設計条件・仕様	特記事項 基礎は鉄筋コンクリート ($\sigma_{ck}=18N/mm^2$) とする	施工注意事項 (注記)	図面名称	ベルトコンベヤ 据付標準基礎図
			図面番号	

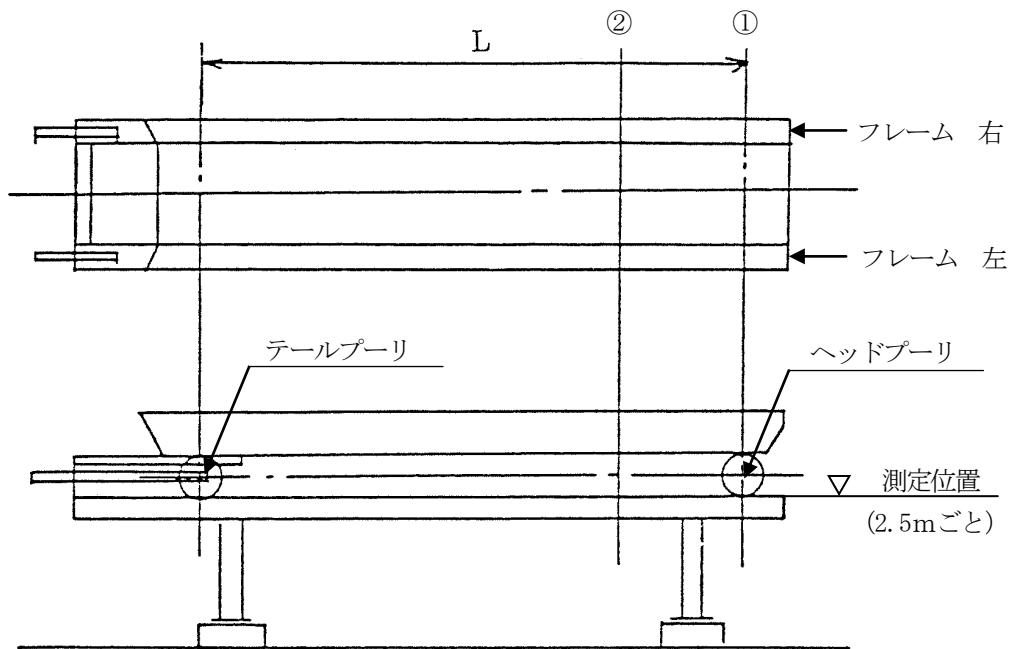
④ 試験・試運転

種 別	試 験 内 容	判 定 方 法 及 び 基 準	記 録 事 項	判 定	摘 要
運 転 準 備	絶縁抵抗測定	動力及び制御回路の絶縁抵抗を測定し、 $0.2M\Omega$ 以上であること。	絶縁抵抗値		電気設備技術基準による。
	制御回路	制御回路のチェックを行い、各計器類が問題なく作動すること。			
運 転 確 認	ワイヤー式非常停止装置	運転中、ワイヤーを手で動かした時、ベルトコンベヤが停止すること。			
	走行動作	作動はスムーズで、駆動装置、その他、回転部からの異常音及び異常振動の発生がないこと。			
性 能 確 認	電 壓	定格電圧の±10%以内であること。			
	運転作動電流	定格電流値以下であること。			
	速 度	設計値に対しての確認。			

⑤ 施工記録

ベルトコンベヤ測定表

工 名 称			
施工場所		測定年月日	
機 名 称		測 定 者	
機番 (No)		立 会 者	



測 定 項 目		許容値	測 定 箇 所						
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
フレーム左 右の高低差	右	mm 以下							
	左								
機 長		—	L=						

測定計器	
メー カー 名	
形 式	
精 度	

ベルトコンベヤ

